

2. 第40回 卓球競技実施要項

1. 競技種目

団体戦：男子団体・女子団体

個人戦：男子シングルス（一般の部・シニアの部）

女子シングルス（一般の部・シニアの部）

ダブルス戦（男子ダブルス・女子ダブルス・混合ダブルス）

2. 競技規則

大会開催年度の日本卓球ルール及びと本大会申合せ事項による。

3. 出場資格

団体戦については、男女とも1加盟団体1チームとする。

個人戦に出場する場合、一般の部とシニアの部のいずれかに出場するものとする。

個人戦(男女シングルス)のうち、一般の部は年齢制限がないが、シニアの部は男子は40歳以上、女子は35歳以上とする。

個人戦(男女シングルス)、ダブルス戦は参加制限をしない。但し、団体戦に登録した選手はダブルス戦に出場できない。

加盟団体内でダブルスのペアが組めない場合、大会競技実施要項規定の6(2)により他の加盟団体の者と組むことができる。

4. チームの編成

男女とも、監督1名、選手3~5名、コーチ1名を登録することができる。

5. 競技方法

団体戦は参加数により、以下の方法で行う。

・7チーム以上はトーナメント方式。

・6チームの場合、AとBブロックに分けた予選リーグ戦とし、各ブロック1位チームが決勝戦、2位チームが3位決定戦を行う。

・5チーム以下の場合、総当りリーグ戦とする。

リーグ戦の順位決定は勝者2点、敗者1点、棄権0点で得点計算をして決定する。(現行日本卓球ルールによる)

勝敗の決定は、11点5ゲームマッチ(3ゲーム先取勝)とする。

順位決定は勝者2点、敗者1点、棄権0点で得点計算をして決定する。

団体戦は、男女とも世界選手権の団体戦方式とし、3名のシングルスによって試合を行い、男女とも3点先取とする。

	B	C	A	B
X	Y	Z	Y	X

個人戦及びダブルス戦についても、11点5ゲームマッチとする。

個人戦、ダブルス戦ともトーナメント方式で行う。但し、個人戦のシニアの部は参加状況により、競技方法を変更することがある。(決定は競技主管で行う)

6. 競技服装等

ラケットの両面は、異色(赤・黒)でなければならない。

ゼッケンは、JTТА 公認のゼッケンか、下図の様式の通り作成し、背部に着用すること。

名前
(都道府県名)

縦 21cm 横 28cm

日本卓球ルールにより、サイズは 600c m²以内であること。

7. 使用球

ボールは JTТА 公認の 40 ミリボールを使用する。(使用球のメーカー、色は主管協会が決めるものとする。)

8. 組み合わせ方法

団体戦の組み合わせは、監督・主将等合同会議において、もしくは参加申し込み締め切り後、実行委員会と競技主管団体、技術委員、審判長の立会いのもとで、代理抽選により決定する。個人戦とダブルス戦の組み合わせは、参加申し込み締め切り後、と同様のもとで、代理抽選により決定する。

シードは下記の通りとする。シード並びは現行日本卓球ルールに従うこと。

男女団体戦...前回ベスト 4 まで

男女個人戦...前回ベスト 16 まで

男女混合ダブルス...前回ベスト 4 まで(但しパートナーの変更は不可)

個人戦...各種目ともひとつのエリアに同じブロック選手、または同じ加盟団体選手が集中しないよう、配慮すること。

9. 表彰

種目ごとに、競技終了後、表彰を行う。

10. 注意事項

団体戦及びシングルス及びダブルスの参加申し込みについては、備考欄に戦歴を記入のこと。競技進行はタイム・テーブルによって行うので、各自の出場時間及びコートを予め確認しておくこと。

団体戦のオーダーは、第1試合は〔 〕時(監督・主将等合同会議にて決定)、第2試合以降は対戦チームが決定次第直ちに提出すること。

その他については、大会本部又は競技役員の指示に従うこと。

10. 注意事項

団体戦及びシングルス及びダブルスの参加申し込みについては、備考欄に戦歴を記入のこと。競技進行はタイム・テーブルによって行うので、各自の出場時間及びコートを予め確認しておくこと。

団体戦のオーダーは、第1試合は〔 〕時(監督・主将等合同会議にて決定)、第2試合以降は対戦チームが決定次第直ちに提出すること。

その他については、大会本部又は競技役員の指示に従うこと。

11. 本要項の改正

- ・一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会
- ・一部改正 2005年2月27日 第7回全国委員会